

11.ポルト大学



ポルト大学建築学部はポルトガルを代表する建築家アルヴァロ・シザが80年代から90年代にかけて教鞭をとった大学のために設計した建築である。起伏に富んだ地形を活かすことで建物と丘陵がうまく交差し、ちいさな街を思わせる配置となっている。



シンプルで小ぶりなホワイトボックスが複数建ち並び、建物の配置や形状により、遠近感を創り出し、建物と中庭を巧みにつなぎ合わせていた。また、それらは地下で繋がっており、開口部を多くとる事で、地下の空間にも光が差し込むようになっていた。そのおかげで、地下にも拘わらず、照明器具が少なくても自然光が柔らかに入る優しい空間になっていた。廊下の大開口や細長い窓でファサードに表情をつけ、建物内部に様々な角度から自然光を取り入れていた。



外観はシザらしく白い外壁で包まれたシンプルな建築でありながら、内部は、いろいろな角度から自然光を取り入れ表情豊かな空間を構成し、決して大きくない空間をも居心地の良い絶妙な空間にしている気がした。

